

# 受賞の高校生プレゼン

慶応大湘南  
藤沢キャンパス  
渡米前に英語で



群馬イノベーションアワード(GIA)2017で大賞や入賞に輝いた高校生3人が25日、神奈川県藤沢市の慶応大湘南藤沢キャンパス(SFC)を訪れ、GIA審査委員長を務めた国領二郎教授のゼミで、ビジネスプランを英語でプレゼンテーションした。3人はSFCでプランを磨き、来年4月に米国・シリコンバレーで現地の出資者にプレゼンする。

SFCを訪れたのは、大賞を受賞した中央中等教育学校5年の奥谷哲郎さん(17)と、ビジネスプラン部門高校生の部で入賞した利根実業高3年の大塚菜々実さん(18)と原沢藍子さん(17)。

奥谷さんは食物アレルギー

「患者の飲食店探しを手助けするアプリについて説明。ゼミの学生から「菜食主義者やムスリムにも応用できる」と評価する声がかかる一方、「情報の確実性をどう確保するのか」といった指摘もあった。

利根実の2人はコインランドリーとカラオケを併設した新業態「カランドリー」を発表。対話形式でのプレゼンが評価されていた。料金設定や競合サービスとの差別化についての指摘があ

り、国領教授は「アイデアからプランにするには、サービスの対象や収支計画を具体化する必要がある」と助言した。

3人は今後、ゼミの学生の指導を受けながらビジネスプランを磨く。奥谷さんは「出資者を前に行うプレゼンにふさわしい内容になるよう頑張る」と話し、大塚さんと原沢さんも「今回提案してもらったことをしっかり反映させたい」と意気込んだ。



国領教授(左)からアドバイスを受ける奥谷さん(右)と大塚さん(右から2人目)、原沢さん